

関数 $f(x) = x^2 - |x^2 - 2x|$ について以下の問いに答えよ。

- (1) $y = f(x)$ のグラフの概形を描け。
- (2) 点 $(0, -1)$ を通る直線 $y = mx - 1$ が $y = f(x)$ と 3 個の共有点をもつための傾き m の範囲を求めよ。
- (3) $y = f(x)$ のグラフと直線 $y = 2x$ で囲まれる部分の面積を求めよ。

(22 東北学院大 工 A 3)

【答】

- (1) 略
- (2) $2\sqrt{2} - 2 < m < 2, 2 < m < \frac{5}{2}$
- (3) $\frac{8}{3}$

【解答】

$$f(x) = x^2 - |x^2 - 2x|$$

- (1) 場合分けし、絶対値をはずすと

$$\begin{aligned} f(x) &= x^2 - |x(x-2)| \\ &= \begin{cases} x^2 - (x^2 - 2x) & (x(x-2) \geq 0 \text{ のとき}) \\ x^2 + (x^2 - 2x) & (x(x-2) \leq 0 \text{ のとき}) \end{cases} \\ &= \begin{cases} 2x & (x \leq 0, 2 \leq x \text{ のとき}) \\ 2x^2 - 2x & (0 \leq x \leq 2 \text{ のとき}) \end{cases} \\ &= \begin{cases} 2x & (x \leq 0, 2 \leq x \text{ のとき}) \\ 2\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{2} & (0 \leq x \leq 2 \text{ のとき}) \end{cases} \end{aligned}$$

よって、 $y = f(x)$ のグラフの概形は右図の実線部分となる。

- (2) 直線 $y = mx - 1$ と放物線 $y = 2x^2 - 2x$ が接する条件は

$$2x^2 - 2x = mx - 1$$

すなわち

$$2x^2 - (m+2)x + 1 = 0$$

が重解をもつことであり、(判別式) = 0 である。

$$(m+2)^2 - 8 = 0$$

$$\therefore m = -2 \pm 2\sqrt{2}$$

(1) の図より、接点の x 座標が $0 < x < 2$ にあるのは

$$m = 2\sqrt{2} - 2$$

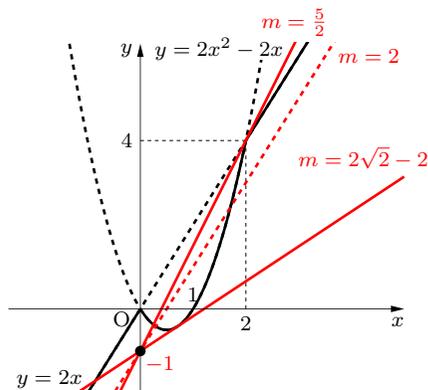
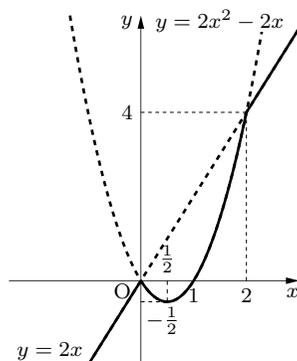
のときである。

また、直線 $y = mx - 1$ が点 $(2, 4)$ を通るのは、 $4 = 2m - 1$ より

$$m = \frac{5}{2}$$

のときであり、直線 $y = mx - 1$ が直線 $y = 2x$ と平行になるのは、

$$m = 2$$



のときである。

よって、 $y = mx - 1$ が $y = f(x)$ と 3 個の共有点をもつための m の範囲は

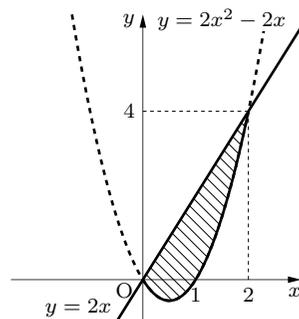
$$2\sqrt{2} - 2 < m < 2, \quad 2 < m < \frac{5}{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(3) 求める面積は、右図の斜線部分の面積であり

$$\begin{aligned} & \int_0^2 \{2x - (2x^2 - 2x)\} dx \\ &= -2 \int_0^2 x(x-2) dx \\ &= 2 \cdot \frac{(2-0)^3}{6} \\ &= \frac{8}{3} \end{aligned}$$

……(答)



である。